



RI 第 2 6 1 0 地区

井波庄川ロータリークラブ会報

2011-2012 年度 No. 1 0

事務局 〒939-1635 富山県南砺市福光 7336-4 福光会館 3F

ふくみつ光房内 TEL 0763-53-1333 F A X 0763-53-1334、

inashore@athena.ocn.ne.jp

2011-2012 年度 会長 高瀬顕正、幹事 浅田裕二

2011-2012 年度 RI テーマ



「こころの中を見つめよう
博愛を広げるために」

(カルヤン・パネルジー会長)

例 会 記 録

いなみ

灯りアート

in autumn

おわら町流し

9月17・18日(土・日)

各町内が趣向を凝らした“灯り”で皆様をお迎えします。
八尾のおわら踊りは山門から始まり、八日町・六日町・
上新町通りで披露されます。哀調帯びたおわらをご堪能下さい。
輪踊りも行われますので多くの方のご参加をお待ちしています！
なお、18日は午後5時より富山銀行前で模擬店も
開催しますので是非ご来店を！！

灯りアート

17日(土) 瑞泉寺山門
18日(日) 三日町通り
午後7時～ 六日町通り
八日町通り
上新町通り

おわら町流し

18日(日) 瑞泉寺山門
午後7時半～ 六日町通り
八日町通り
上新町通り
瑞泉寺の集合は八下

山門ライトアップ

17日(土) 瑞泉寺山門
18日(日)
午後7時～

映像の祭典

17日(土) 瑞泉寺山門
18日(日)
午後7時～
「安念余志子・映像3部作」
※各5分程度を繰り返し上映致します

主催/灯りアート実行委員会・三六八通り振興会
後援/瑞泉寺南隣会・三日町、六日町、八日町、上新町町内会
協力/富山県民謡おわら保存会株島支部 福島おわら保存会

第1588回例会

平成23年9月14日(水)井波文化センター研修室

1. 点 鐘 高瀬頭正会長
2. ソング 「我等の生業」
3. 卓話ゲスト 藤井圭一氏 (紹介者: 三角会員)
4. ビジター: 西川雄策君 (南砺RC)



5. **会長の時間**: また今年も今頃になって暑い日が続きます。木彫刻キャンプの頃は大変涼しかったのですが…。去年の日記をみてみますと、昨夏は、113年ぶりの猛暑で、8月の真夏日がなんと14日以外の30日間ありました。なんやかんや言っても、あと10日ほどでしょう。昨日、PET (画像診断センター) に全身にガンがあるかどうか診断する検査を受けに行ってきました。全身が入る箱の中に入って、30分くらい検査を受けました。1時間前に、放射性物質の入ったブドウ糖液を注射してもらいましたが、ガン細胞は新陳代謝が激しいので、1時間すると、ブドウ糖を取り込み、金色に光って画像に写るのだそうです。結果的に全く何もありませんでした。3年前にも受けましたが、家族と一悶着ありました。年とってきたら、小さい病気がいくらかでも出るから、やめておかれと。自分は、仏法を聞いているので、お釈迦様の光背のように一杯光っていてもいいと思っていましたが、3年前も今年も真っ暗で一つも光っていませんでした。まだまだ、聞きようが足りないようです (冗談ですが…)。西川さん、本日はようこそ。

6. 幹事報告: ①地区大会の申し込みや変更が、9月20日締め切りです。②8月24日の納涼例会、15名参加でしたが、1名当たり7300円自己負担になります。

口座より引き落としさせていただきます。

7. 委員会報告: ①出席委員会: 本日20名中13名出席 (調整後68.42%) -

8. **ニコニコBOX** (本日3名、3000円。)

斎藤会員: 外にいつもいる従業員さえ、熱中症になります。

河合会員: 藤井圭一さん、ようこそ。来週から仲間どうぞ。

高瀬会長: 暑さで疲れた体のケアを!



卓話「いなみ灯りアートについて」

藤井圭一氏（藤井工業社長）

三角会員（紹介者）：私が紹介を改めてしなくても、皆さんよくご存じの方です。藤井圭一氏は、藤井工業社長で、趣味で2003年より、FMとなみの「POPSおやじのミュージックマシンガン」のパーソナリティーをしておられます。また、このたびの国際木彫刻キャンプのイベント分科会会長として活躍されました。



藤井圭一氏：三角さんのお願いで卓話に参りました。私は、昭和29年11月10日生まれの56歳です。「藤井工業」という建築業をしております。個人住宅を中心に事業をしておりますが、最近は「古民家再生」のブームで、毎年1軒ずつ、基礎から持ち上げて、基礎が出来たらおろして再生するというので、才川議員さんや三谷さんのレストランなどを手掛けております。

さて、4年に1度、国際木彫刻キャンプが開催されますが、それに併せ、「寺の町アート」が企画され、今では毎年開かれています。また、3年ほど前より「灯りアート」を三日町・六日町・八日町・上新町の4町で計画、今年は9月17—18日に企画しました。これは、法然上人の700回忌という50年前の知恩院に寄進した行燈が出てきたことにより、この行燈をまねて、3尺2尺の行燈を新たに作って町に飾ろうというものです。もともと、この町内には、斎藤光琳、南部白雲、谷口信夫の作家がおられるので、1回に2枚ずつ行燈の絵を描いてもらうことにお願いしました。とりあえずは、10年間続けようということや、10年続いたら行燈が60個できるので、これを三日町の財産にしようということが決まり実施することになりました。

今までは、「寺の町アート」に隠れて実施していましたが、今回は単独で行うことにしました。そうしてみると、「交通止め」など観光協会でやってもらっていたものが、実行委員会でやろうとして、手続がなかなか難しいことが分かりました。行政関係が間に入ると簡単なのですが・・・最終的には、責任者に竹谷行政センター長の名前が入るだけで簡単に解決しました。

三日町は19軒、六日町も17—8軒の小さな町内です。景観の町作りという住民協定も策定しましたが、なかなかそこまで行くまでが大変でした。やるまでのプロセスが大事だと思います。町内会で集まる回数が増え、議論をすることが出来、いい機会となりました。三日町も限界集落です。高齢社会真っ只中で、コミュニティーの崩壊があちこち叫ばれる中、同じような状況です。今回の「灯りアート」では、「おわらの町流し」も計画、少しでも多くの方が町内に来て頂ける事を待っております。これが町内に刺激となります。皆様宜しくお願いします。

